

学修ガイド 2025年度

日本語教員養成課程



北海学園大学
Hokkai-Gakuen University

〈目次〉

北海学園大学日本語教員養成課程について 

北海学園大学日本語教員養成課程履修規程 

開講科目一覧および年次配当

2025年度以降入学者 適用 

2017～2024年度入学者 適用 

2016年度入学者 適用 

2014～2015年度入学者 適用 

日本語教員養成課程科目一覧（2025年度以降入学生用） 

日本語教員養成課程科目一覧（2017～2024年度入学生用） 

日本語教員養成課程科目一覧（2014～2016年度入学生用） 

履修方法と履修上の注意 

受講料について 

受講希望者に望まれること 

受講生・卒業生の声 

北海学園大学日本語教員養成課程について

本学における日本語教員養成プログラムは、日本語非母語話者に対する日本語教員を育成する目的で1998年から行われ、2000年からは人文学部を窓口とする事務局や委員会体制を整備し正式な「課程」として発足しました。本課程のカリキュラムは、当初、1985年の文部省調査委員会報告による「日本語教員養成の標準的教育内容」を指針として策定されました。しかし、国内外の日本語学習者の増加と多様化など日本語教育を取り巻く状況が大きく変化したことを受け、文化庁日本語教員養成に関する調査会が新たな枠組みの広範囲にわたる教育内容を提示してきました（下の表を参照）。そこで、本学の課程においても文化庁による新教育内容の意義を認め、2005年の人文学部カリキュラム変更に連動させ、課程カリキュラムは大幅な改定に至りました。さらに、2014年からの新カリキュラム始動に伴い、本課程においても科目の新設、名称変更などがあります。また、2017年度から科目設定が5つの区分（下の表を参照）に沿った形で配分され、各区分の履修要件が若干変更しています。年度別の開講科目、履修単位数等詳しい内容は3～13頁を確認してください。

日本語教員の免許、資格は公的な制度として確立されているものではなく、資格の認定は日本語教員養成課程をもつそれぞれの教育機関に委ねられています。本大学の場合は、申請に基づき、大学卒業を前提として、課程の修了者に「日本語教員養成課程修了証」を授与しています。なお、日本語教育機関によっては教師資格として課程修了以外の要件も求められる場合がありますので、詳しくは課程担当教員に相談してください。

文化庁の教員養成に関する調査会答申「日本語教員養成において必要とされる教育内容」

（2000年3月30日公開された内容）

	領 域	区 分	内 容
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	社会・文化・地域に関わる領域	①社会・文化・地域	世界と日本
			異文化接触
			日本語教育の歴史と現状
		②言語と社会	言語と社会の関係
			言語使用と社会
			異文化コミュニケーションと社会
	教育に関わる領域	③言語と心理	言語理解の過程
			言語習得・発達
			異文化理解と心理
		④言語と教育	言語教育法・実習
			異文化間教育・コミュニケーション教育
			言語教育と情報
	言語に関わる領域	⑤言語	言語の構造一般
			日本語の構造
			言語研究
			コミュニケーション能力

北海学園大学日本語教員養成課程履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北海学園大学（以下「本大学」という。）の学則第51条の2に基づき、日本語教員養成課程（以下「課程」という。）の授業科目、単位、履修方法に関する事項を定める。

(授業科目)

第2条 課程の授業科目、単位数及び年次配当並びに必修科目、選択科目の区別は、学則別表12(1)及び(2)のとおりとする。

(履修願)

第3条 課程の授業科目を履修しようとする者は、所定の期間内に、受講料等を納入し、「履修願」を提出して、その許可を受けなければならない。

(単位の修得)

第4条 単位を修得するためには、履修した授業科目の試験等に合格しなければならない。

(試験)

第5条 試験は、原則として、その授業科目の授業が終了した学期末毎に行なう。

(成績の評価)

第6条 授業科目の成績評価は、秀、優、良、可及び不可とし、秀、優、良及び可を合格とする。ただし、この成績評価になじまない一部の科目は、合、否とする。

(修了要件)

第7条 本大学の学生が課程を修了するためには、卒業に必要な単位を修得し学士の学位を授与される者で、別表12の授業科目のうち、必修・選択科目を含み、32単位以上を修得しなければならない。

(修了証書の授与)

第8条 学長は、課程の授業科目を履修し、修了に必要な単位（32単位以上）を修得した者に、申請に基づいて本大学所定の修了証書を授与する。

(受講料等)

第9条 課程の授業科目を履修する者は、本大学学則別表14(9)に定める受講料等を納入しなければならない。

(科目等履修生)

第10条 本大学の科目等履修生規程に基づいて入学した者は、当該学部及び課程委員会の許可を得て、課程の授業科目を履修することができる。

2 科目等履修生が一年間に履修できる単位数は28単位以内とする。

3 科目等履修生で別表12(1)、(2)の授業科目のうち、必修・選択科目を含み、32単位以上修得した者には、本大学所定の修了証書を授与する。

附 則

1 この規程は、平成12年4月1日から施行する。

2 ただし、この規程は、平成10年度以降入学者（科目等履修生は除く。）から適用する。

附 則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 ただし、平成16年度以前入学生については従前の規定を適用する。

附 則

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

2 ただし、平成23年度以前の入学者については従前の規則による。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

日本語教員養成課程修了要件

2017年度以降入学者適用

社会・文化・地域	8 単位以上
言語と社会	2 単位以上
言語と心理	2 単位以上
言語と教育	10単位以上
言語	10単位以上
合計	32単位以上

2016年度以前入学者適用

言語領域（言語）	10単位以上
言語領域（外国語）	2 単位以上
教育領域	12単位以上
社会・文化・地域領域	8 単位以上
合計	32単位以上

開講科目一覧および年次配当

2025 年度以降入学者 適用

1 部

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目 ×…開講されていない（履修できない）科目

○印必修	授 業 科 目	年次及び単位数					対 象 学 科												備 考	開 講 区 分
		1	2	3	4	計	経済	地域経済	経営	経営情報	法律	政治	日本文化	英米文化	社会環境工	建築	電子情報工	生命工		
	社会・文化・地域																			
	日本文学	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8 単位以上必修	一般教育科目
	歴史学Ⅰ	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	歴史学Ⅱ	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	歴史学Ⅲ	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	歴史学Ⅳ	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	国際事情	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経済学部専門科目／一般教育科目	経済学部専門科目／一般教育科目
	日本文学史Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語	英米文化学科の学生は2年次開講	人文学部専門科目
	日本文学史Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	日本文化概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	日本文化概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	日本史概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	日本史概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	ヨーロッパ文化概論	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	キリスト教文化論		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	アイヌ文化論Ⅰ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	アイヌ文化論Ⅱ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	言語と社会																			
	世界の言語と文化	2				2	×※2	×※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2 単位以上必修	一般教育科目
	異文化コミュニケーション	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	アイヌの言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	言語と心理																			
	人間関係論	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2 単位以上必修	一般教育科目
	日本語教育学特論		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語	人文学部専門科目	人文学部専門科目
	言語と教育																			
	コンピュータ科学	2				2	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	必修8 単位含み	一般教育科目
○	日本語教授法Ⅰ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語	10 単位以上必修	一般教育科目
○	日本語教授法Ⅱ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語	人文学部専門科目	人文学部専門科目
○	日本語教授法Ⅲ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語	人文学部専門科目	人文学部専門科目
○	日本語教授法Ⅳ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語	人文学部専門科目	人文学部専門科目
	日本語教育演習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語	人文学部専門科目	人文学部専門科目
	日本語教育特別演習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語	人文学部専門科目	人文学部専門科目
	言語																			
	英語コミュニケーションⅠ	1				1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必修4 単位含み	一般教育科目
	英語コミュニケーションⅡ	1				1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10 単位以上必修	一般教育科目
	英語コミュニケーションⅢ		1			1	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	英語コミュニケーションⅣ		1			1	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	言語学Ⅰ	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	言語学Ⅱ	2				2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一般教育科目	一般教育科目
	Communication SkillsⅠ	2				2	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	人文学部の学生のみを対象に開講	人文学部専門科目
	Communication SkillsⅡ	2				2	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×		人文学部専門科目
○	日本語学概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
○	日本語学概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	日本語学特論Ⅰ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	日本語学特論Ⅱ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	日本語発声実習	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	対照言語学		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	英語学概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	英語学概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
	英語学特論Ⅰ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語	日本文化学科の学生は2年次開講	人文学部専門科目
	英語学特論Ⅱ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日語	日語	日語	日語		人文学部専門科目
計		56	14	18	0	88														

※1「歴史学Ⅳ」建築学科の2020年度以前入学者には開講されていません。

※2「世界の言語と文化」経済学科及び地域経済学科の2017年度入学者には開講されています。

2025 年度以降入学者 適用

2 部

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目
×…開講されていない（履修できない）科目

○印必修	授 業 科 目	年次及び単位数					対 象 学 科							備 考	開 講 区 分
		1	2	3	4	計	経済	地域経済	経営	法律	政治	日本文化	英米文化		
	社会・文化・地域														
	日 本 文 学	2				2	○	○	○	○	○	○	○	8 単位以上必修	一般教育科目
	歴 史 学 I	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目
	歴 史 学 II	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目
	歴 史 学 III	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目
	歴 史 学 IV	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目
	国 際 事 情	2				2	○	○	○	○	○	○	○		経済学部専門科目／一般教育科目
	日 本 文 学 史 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	英米文化学科の 学生は 2 年次開 講	人文学部専門科目
	日 本 文 学 史 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 文 化 概 論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 文 化 概 論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 史 概 論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 史 概 論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	ヨ ー ロ ッ パ 文 化 概 論	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日本文化学科の 学生は 2 年次開 講	人文学部専門科目
	キ リ ス ト 教 文 化 論	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	ア イ ス 文 化 論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	ア イ ス 文 化 論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	言語と社会														
	世 界 の 言 語 と 文 化	2				2	×※1	×※1	○	○	○	○	○	2 単位以上必修	一般教育科目
	異文化コミュニケーション	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目
	アイヌの言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目
	言語と心理														
	人 間 関 係 論	2				2	○	○	○	○	○	○	○	2 単位以上必修	一般教育科目
	日 本 語 教 育 学 特 論		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
○ ○ ○ ○	言語と教育														
	コ ン ピ ュ ー タ 科 学	2				2	×	×	×	○	○	○	○	必修 8 単位含み 10 単位以上必修	一般教育科目
	日 本 語 教 授 法 I		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 教 授 法 II					2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 教 授 法 III			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 教 授 法 IV			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 教 育 演 習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 教 育 特 別 演 習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
○ ○	言語														
	英語コミュニケーション I	1				1	○	○	○	○	○	○	○	必修 4 単位含み 10 単位以上必修	一般教育科目
	英語コミュニケーション II	1				1	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目
	言 語 学 I	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目
	言 語 学 II	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目
	Communication Skills I	2				2	×	×	×	×	×	○	○	人文学部の学生 のみを対象に開 講	人文学部専門科目
	Communication Skills II	2				2	×	×	×	×	×	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 学 概 論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 学 概 論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 学 特 論 I			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 学 特 論 II			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	日 本 語 発 声 実 習	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	対 照 言 語 学		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	日本文化学科の 学生は 2 年次開 講	人文学部専門科目
	英 語 学 概 論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	英 語 学 概 論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	英 語 学 特 論 I			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
	英 語 学 特 論 II			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
計		56	12	18	0	86									

※ 1 「世界の言語と文化」経済学科及び地域経済学科の2017年度入学者には開講されています。

開講科目一覧および年次配当

2017～2024 年度入学者 適用

1 部

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目 ×…開講されていない（履修できない）科目

○印必修	授 業 科 目	年次及び単位数					対 象 学 科												備 考	開 講 区 分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		1	2	3	4	計	経済	地域経済	経営	経営情報	法律	政治	日本文化	英米文化	社会環境工	建築	電子情報工	生命工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	社会・文化・地域																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

2017～2024 年度入学者 適用

2 部

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目
×…開講されていない（履修できない）科目

○印必修	授 業 科 目	年次及び単位数					対 象 学 科							備 考	開 講 区 分
		1	2	3	4	計	経済	地域経済	経営	法律	政治	日本文化	英米文化		
	社会・文化・地域													8 単位以上必修 英米文化学科の学生は 2 年次開講	一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 経済学部専門科目／一般教育科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目
	日 本 文 学	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	歴 史 学 I	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	歴 史 学 II	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	歴 史 学 III	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	歴 史 学 IV	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	国 際 情 勢	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	日 本 文 学 史 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日 本 文 学 史 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日 本 文 化 概 論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日 本 文 化 概 論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日 本 史 概 論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日 本 史 概 論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	ヨーロッパ文化概論	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	キリスト教文化論	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	アイヌ文化論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	アイヌ文化論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	アジア地域論 I	2			2	2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	アジア地域論 II	2			2	2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	言語と社会													2 単位以上必修	一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目
	世界の言語と文化	2				2	×※1	×※1	○	○	○	○	○		
	異文化コミュニケーション	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	アイヌの言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	言語と心理													2 単位以上必修	一般教育科目 人文学部専門科目
	人間関係論	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	日本語教育学特論	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
○ ○ ○ ○	言語と教育													必修 8 単位含み 10 単位以上必修	一般教育科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目
	コンピュータ科学	2				2	×	×	×	○	○	○	○		
	日本語教授法 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教授法 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教授法 III	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教授法 IV	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教育演習	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
○ ○	日本語教育特別演習	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	必修 4 単位含み 10 単位以上必修 人文学部の学生のみを対象に開講	一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目
	言語														
	英語コミュニケーション I	1				1	○	○	○	○	○	○	○		
	英語コミュニケーション II	1				1	○	○	○	○	○	○	○		
	言語学 I	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	言語学 II	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	Communication Skills I	2				2	×	×	×	×	×	○	○		
	Communication Skills II	2				2	×	×	×	×	×	○	○		
	日本語学概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語学概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語学特論 I	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語学特論 II	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語学特論 III	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語学特論 IV	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語学特論 V	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	対照言語学	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	英語学概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	英語学概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	英語学特論 I	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	英語学特論 II	2		2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
計		50	18	22	0	90									

※ 1 「世界の言語と文化」経済学科及び地域経済学科の2017年度入学者には開講されています。

2016 年度入学者 適用

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目 ×…開講されていない（履修できない）科目

—8—

2016 年度入学者 適用

2 部

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目
×…開講されていない（履修できない）科目

○印必修	授 業 科 目	年次及び単位数					対 象 学 科							備 考	開 講 区 分
		1	2	3	4	計	経済	地域経済	経営	法律	政治	日本文化	英米文化		
○ ○ ○ ○ ○	言語領域（言語）													必修4単位含み 10単位以上必修	一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目
	世界の言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	言語学Ⅰ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	言語学Ⅱ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	日本語学概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語学概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語学特論Ⅰ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語学特論Ⅱ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語発声実習	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	対照言語学	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	英語学概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	英語学概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	言語領域（外国語）													2単位以上必修	一般教育科目 一般教育科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目
	英語コミュニケーションⅠ	1				1	○	○	○	○	○	○	○		
	英語コミュニケーションⅡ	1				1	○	○	○	○	○	○	○		
	CommunicationSkillsⅠ	2				2	×	×	×	×	×	○	○		
	CommunicationSkillsⅡ	2				2	×	×	×	×	×	○	○	} 人文学部の学生 のみを対象に開講	人文学部専門科目 人文学部専門科目
○ ○ ○ ○ ○	教育領域														
	コンピュータ科学	2				2	×	×	×	○	○	○	○	必修8単位含み 12単位以上必修	一般教育科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目
	日本語教授法Ⅰ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教授法Ⅱ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教授法Ⅲ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教授法Ⅳ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教育学特論			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教育演習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本語教育特別演習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	社会・文化・地域領域													8単位以上必修	一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 一般教育科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目 人文学部専門科目
	人間関係論	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	日本文学	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	異文化コミュニケーション	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	歴史学Ⅰ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	歴史学Ⅱ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	歴史学Ⅲ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	歴史学Ⅳ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	国際事情	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	アイヌの言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○	○		
	日本文学史Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本文学史Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本文化概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本文化概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本史概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	日本史概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	ヨーロッパ文化概論		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	キリスト教文化論	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	アイヌ文化論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	アイヌ文化論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	アジア地域論Ⅰ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
	アジア地域論Ⅱ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		
計		50	18	18	0	86									

2014～2015 年度入学者 適用

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目 ×…開講されていない（履修できない）科目

— 10 —

2 部

×…開講されていない（履修できない）科目

○印必修	授 業 科 目	年次及び単位数					対 象 学 科							備 考	開 講 区 分	
		1	2	3	4	計	経済	地域経済	経営	法律	政治	日本文化	英米文化			
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	言語領域（言語）													必修4単位含み 10単位以上必修		
	世界の言語と文化Ⅰ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	言語学Ⅰ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	言語学Ⅱ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	日本語学概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本語学概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本語学特論Ⅰ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本語学特論Ⅱ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本語学特論Ⅲ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本語学特論Ⅳ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	言語領域（外国語）													2単位以上必修		
	オーラルコミュニケーションⅠ	1				1	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	オーラルコミュニケーションⅡ	1				1	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	CommunicationSkillsⅠ	2				2	×	×	×	×	×	○	○		人文学部の学生 のみを対象に開講	人文学部専門科目
	CommunicationSkillsⅡ	2				2	×	×	×	×	×	○	○	人文学部専門科目		
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	教育領域													必修8単位含み 12単位以上必修	
		コンピュータ科学Ⅰ	2				2	×	×	×	○	○	○	○		一般教育科目
		日本語教授法Ⅰ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
		日本語教授法Ⅱ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
		日本語教授法Ⅲ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目
日本語教授法Ⅳ				2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	人文学部専門科目		
日本語教育学特論				2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	人文学部専門科目		
日本語教育演習				2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○	人文学部専門科目		
社会・文化・地域領域	人間関係学Ⅰ	2				2	○	○	○	○	○	○	○	8単位以上必修	一般教育科目	
	人間関係学Ⅱ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	異文化コミュニケーションⅠ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	歴史学Ⅰ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	歴史学Ⅱ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	歴史学Ⅲ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	歴史学Ⅳ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	国際事情Ⅰ	2				2	×	×	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	アイヌの言語と文化Ⅰ	2				2	○	○	○	○	○	○	○		一般教育科目	
	日本文学史Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本文学史Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本文化概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本文化概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本史概論Ⅰ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	日本史概論Ⅱ	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	ヨーロッパ文化概論Ⅰ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	キリスト教文化論Ⅰ		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	アイヌ文化論Ⅰ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	アジア地域論Ⅰ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
	アジア地域論Ⅱ			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目	
計	50	18	18	0	86											

日本語教員養成課程科目一覧（2025年度以降入学生用）

【1部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授 業 科 目	単位	担当教員名	開講年次	補 足 等
	①			－	Communication Skills I	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②			－	Communication Skills II	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	5	17047	アイヌ文化論Ⅰ	2	高橋 靖以	2	
	②	水	5	17547	アイヌ文化論Ⅱ	2	高橋 靖以	2	
	①	火	5	17050	英語学概論Ⅰ	2	上野 誠治	1	日本文化学科は2年次開講
	②	月	4	17551	英語学概論Ⅱ	2	田中 洋也	1	日本文化学科は2年次開講
	②	金	2	17552	英語学特論Ⅰ	2	上野 誠治	3	
	②	火	3	17571	英語学特論Ⅱ	2	田中 洋也	3	
	①	金	4	17051	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	①	月	2	17055	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	水	4	17056	日本語学概論Ⅰ	2	徳永 良次	1	
○	②	水	4	17558	日本語学概論Ⅱ	2	徳永 良次	1	
	②	水	5	17586	日本語学特論Ⅰ	2	南 明世	3	
	①	木	3	17587	日本語学特論Ⅱ	2	徳永 良次	3	
	①	火	5	17086	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	5	17087	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	5	17939	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	金	2	17057	日本語教授法Ⅰ	2	丸島 歩	2	
○	②	金	2	17559	日本語教授法Ⅱ	2	丸島 歩	2	
○	①	水	1	17058	日本語教授法Ⅲ	2	森 良太	3	
○	①	水	2	17059	日本語教授法Ⅲ	2	森 良太	3	
○	②	水	1	17560	日本語教授法Ⅳ	2	森 良太	3	
○	②	水	2	17561	日本語教授法Ⅳ	2	森 良太	3	
	②	月	4	17589	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	金	2	17088	日本史概論Ⅰ	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	金	2	17590	日本史概論Ⅱ	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	3	17592	日本文化概論Ⅰ	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	5	17593	日本文化概論Ⅱ	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	水	3	17091	日本文学史Ⅰ	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	月	3	17595	日本文学史Ⅱ	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	月	5	17067	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	1	日本文化学科は2年次開講

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。

※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

【2部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授 業 科 目	単位	担当教員名	開講年次	補 足 等
	①	－	－	－	Communication Skills I	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②	－	－	－	Communication Skills II	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	1	18022	アイヌ文化論Ⅰ	2	高橋 靖以	2	
	②	水	1	18522	アイヌ文化論Ⅱ	2	高橋 靖以	2	
	①	木	1	18025	英語学概論Ⅰ	2	上野 誠治	1	日本文化学科は2年次開講
	②	月	1	18526	英語学概論Ⅱ	2	田中 洋也	1	日本文化学科は2年次開講
	②	木	2	18543	英語学特論Ⅰ	2	上野 誠治	3	
	②	月	2	18527	英語学特論Ⅱ	2	田中 洋也	3	
	①	金	1	18026	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	②	月	1	18531	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	木	1	18029	日本語学概論Ⅰ	2	南 明世	1	
○	②	木	1	18533	日本語学概論Ⅱ	2	南 明世	1	
	①	水	1	18055	日本語学特論Ⅰ	2	南 明世	3	
	①	水	1	18554	日本語学特論Ⅱ	2	徳永 良次	3	
	①	火	1	18056	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	1	18057	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	2	17939	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	月	2	18030	日本語教授法Ⅰ	2	丸島 歩	2	
○	②	土	1	18534	日本語教授法Ⅱ	2	丸島 歩	2	
○	①	木	1	18031	日本語教授法Ⅲ	2	歌代 崇史	3	
○	②	木	1	18535	日本語教授法Ⅳ	2	歌代 崇史	3	
	②	月	1	18555	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	水	1	18058	日本史概論Ⅰ	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	水	2	18556	日本史概論Ⅱ	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18558	日本文化概論Ⅰ	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	1	18559	日本文化概論Ⅱ	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18061	日本文学史Ⅰ	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	水	1	18561	日本文学史Ⅱ	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	月	1	18039	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	1	日本文化学科は2年次開講

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。

※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

日本語教員養成課程科目一覧（2017～2024年度入学生用）

【1部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授 業 科 目	単位	担当教員名	開講年次	補 足 等
	①			－	Communication Skills I	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②			－	Communication Skills II	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	5	17047	アイヌ文化論Ⅰ	2	高橋 靖以	2	
	②	水	5	17547	アイヌ文化論Ⅱ	2	高橋 靖以	2	
	①	月	5	17048	アジア地域論Ⅰ	2	小坂みゆき	3	
	②	月	5	17548	アジア地域論Ⅱ	2	廣田千恵子	3	
	①	火	5	17050	英語学概論Ⅰ	2	上野 誠治	2	
	②	月	4	17551	英語学概論Ⅱ	2	田中 洋也	2	
	②	金	2	17552	英語学特論Ⅰ	2	上野 誠治	3	
	②	火	3	17571	英語学特論Ⅱ	2	田中 洋也	3	
	①	金	4	17051	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	①	月	2	17055	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	水	4	17056	日本語学概論Ⅰ	2	徳永 良次	1	
○	②	水	4	17558	日本語学概論Ⅱ	2	徳永 良次	1	
	②	水	5	17586	日本語学特論Ⅰ	2	南 明世	3	
	①	木	3	17587	日本語学特論Ⅱ	2	徳永 良次	3	
	①	火	5	17086	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	5	17087	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	5	17939	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	金	2	17057	日本語教授法Ⅰ	2	丸島 歩	2	
○	②	金	2	17559	日本語教授法Ⅱ	2	丸島 歩	2	
○	①	水	1	17058	日本語教授法Ⅲ	2	森 良太	3	
○	①	水	2	17059	日本語教授法Ⅲ	2	森 良太	3	
○	②	水	1	17560	日本語教授法Ⅳ	2	森 良太	3	
○	②	水	2	17561	日本語教授法Ⅳ	2	森 良太	3	
	②	月	4	17589	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	金	2	17088	日本史概論Ⅰ	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	金	2	17590	日本史概論Ⅱ	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	3	17592	日本文化概論Ⅰ	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	5	17593	日本文化概論Ⅱ	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	水	3	17091	日本文学史Ⅰ	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	月	3	17595	日本文学史Ⅱ	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	月	5	17067	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	2	

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。

※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

【2部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授 業 科 目	単位	担当教員名	開講年次	補 足 等
	①	－	－	－	Communication Skills I	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②	－	－	－	Communication Skills II	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	1	18022	アイヌ文化論Ⅰ	2	高橋 靖以	2	
	②	水	1	18522	アイヌ文化論Ⅱ	2	高橋 靖以	2	
	①	月	1	18023	アジア地域論Ⅰ	2	小坂みゆき	3	
	②	月	1	18523	アジア地域論Ⅱ	2	廣田千恵子	3	
	①	木	1	18025	英語学概論Ⅰ	2	上野 誠治	2	
	②	月	1	18526	英語学概論Ⅱ	2	田中 洋也	2	
	②	木	2	18543	英語学特論Ⅰ	2	上野 誠治	3	
	②	月	2	18527	英語学特論Ⅱ	2	田中 洋也	3	
	①	金	1	18026	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	②	月	1	18531	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	木	1	18029	日本語学概論Ⅰ	2	南 明世	1	
○	②	木	1	18533	日本語学概論Ⅱ	2	南 明世	1	
	①	水	1	18055	日本語学特論Ⅰ	2	南 明世	3	
	①	水	1	18554	日本語学特論Ⅱ	2	徳永 良次	3	
	①	火	1	18056	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	1	18057	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	2	17939	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	月	2	18030	日本語教授法Ⅰ	2	丸島 歩	2	
○	②	土	1	18534	日本語教授法Ⅱ	2	丸島 歩	2	
○	①	木	1	18031	日本語教授法Ⅲ	2	歌代 崇史	3	
○	②	木	1	18535	日本語教授法Ⅳ	2	歌代 崇史	3	
	②	月	1	18555	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	水	1	18058	日本史概論Ⅰ	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	水	2	18556	日本史概論Ⅱ	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18558	日本文化概論Ⅰ	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	1	18559	日本文化概論Ⅱ	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18061	日本文学史Ⅰ	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	水	1	18561	日本文学史Ⅱ	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	月	1	18039	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	2	

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。

※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

日本語教員養成課程科目一覧（2014～2016年度入学生用）

【1部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授 業 科 目	単位	担当教員名	開講年次	補 足 等
	①			－	Communication Skills I	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②			－	Communication Skills II	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	5	17047	アイヌ文化論Ⅰ	2	高橋 靖以	2	
	②	水	5	17547	アイヌ文化論Ⅱ	2	高橋 靖以	2	
	①	月	5	17048	アジア地域論Ⅰ	2	小坂みゆき	3	
	②	月	5	17548	アジア地域論Ⅱ	2	廣田千恵子	3	
	①	火	5	17050	英語学概論Ⅰ	2	上野 誠治	2	
	②	月	4	17551	英語学概論Ⅱ	2	田中 洋也	2	
	①	金	4	17051	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	①	月	2	17055	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	水	4	17056	日本語学概論Ⅰ	2	徳永 良次	1	
○	②	水	4	17558	日本語学概論Ⅱ	2	徳永 良次	1	
	②	水	5	17586	日本語学特論Ⅰ	2	南 明世	3	
	①	木	3	17587	日本語学特論Ⅱ	2	徳永 良次	3	
	①	火	5	17086	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	5	17087	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	5	17939	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	金	2	17057	日本語教授法Ⅰ	2	丸島 歩	2	
○	②	金	2	17559	日本語教授法Ⅱ	2	丸島 歩	2	
○	①	水	1	17058	日本語教授法Ⅲ	2	森 良太	3	
○	①	水	2	17059	日本語教授法Ⅲ	2	森 良太	3	
○	②	水	1	17560	日本語教授法Ⅳ	2	森 良太	3	
○	②	水	2	17561	日本語教授法Ⅳ	2	森 良太	3	
	②	月	4	17589	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	金	2	17088	日本史概論Ⅰ	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	金	2	17590	日本史概論Ⅱ	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	3	17592	日本文化概論Ⅰ	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	5	17593	日本文化概論Ⅱ	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	水	3	17091	日本文学史Ⅰ	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	月	3	17595	日本文学史Ⅱ	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	月	5	17067	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	2	

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。

※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

【2部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授 業 科 目	単位	担当教員名	開講年次	補 足 等
	①	－	－	－	Communication Skills I	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②	－	－	－	Communication Skills II	2	－	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	1	18022	アイヌ文化論Ⅰ	2	高橋 靖以	2	
	②	水	1	18522	アイヌ文化論Ⅱ	2	高橋 靖以	2	
	①	月	1	18023	アジア地域論Ⅰ	2	小坂みゆき	3	
	②	月	1	18523	アジア地域論Ⅱ	2	廣田千恵子	3	
	①	木	1	18025	英語学概論Ⅰ	2	上野 誠治	2	
	②	金	1	18526	英語学概論Ⅱ	2	田中 洋也	2	
	①	水	2	18026	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	②	月	1	18531	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	木	1	18029	日本語学概論Ⅰ	2	南 明世	1	
○	②	木	1	18533	日本語学概論Ⅱ	2	南 明世	1	
	①	水	1	18055	日本語学特論Ⅰ	2	南 明世	3	
	①	水	1	18554	日本語学特論Ⅱ	2	徳永 良次	3	
	①	火	1	18056	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	1	18057	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	2	17939	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	月	2	18030	日本語教授法Ⅰ	2	丸島 歩	2	
○	②	月	2	18534	日本語教授法Ⅱ	2	丸島 歩	2	
○	①	木	1	18031	日本語教授法Ⅲ	2	歌代 崇史	3	
○	②	木	1	18535	日本語教授法Ⅳ	2	歌代 崇史	3	
	②	月	1	18555	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	水	1	18058	日本史概論Ⅰ	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	水	2	18556	日本史概論Ⅱ	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18558	日本文化概論Ⅰ	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	1	18559	日本文化概論Ⅱ	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18061	日本文学史Ⅰ	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	水	1	18561	日本文学史Ⅱ	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	月	1	18039	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	2	

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。

※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

履修方法と履修上の注意

【履修方法】

- 1) 日本語教員養成課程の新規履修希望者は、毎年4月上旬に行なわれるガイダンスに必ず出席してください。ガイダンスの日時は、教務全般のものとは別に掲示されます。
- 2) 履修希望者は、Web履修登録の際に、履修登録画面の「課程申請」をクリックし、「日本語教員」にチェックをつけ、申請を行なってください。5月下旬に受講料の納付書を郵送しますので、これを支払うことにより登録完了となります。登録は、年度途中では認められません。また、年度毎の登録は必要ありません。
- 3) 上記登録は、2年次以上でも可能ですが、1年次に開始することを勧めます。

【履修上の注意】

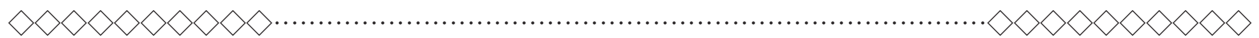
- 1) 別表の通り、人文学部の専門科目と一般教育科目の中から、課程の必修科目並びに選択必修科目が指定されています。このほかにも、関連科目を積極的に履修することを勧めます。
- 2) 別表に示される開講科目の年次は、日本文化学科のみならず他学科の履修希望者に対しても適用されます。また、科目によっては、他の科目の履修を前提としているものがありますから、注意してください。
- 3) 人文学部生は多くの課程科目が卒業に必要な科目と一致しています。他学部生の場合は、課程科目のいくつかを卒業に必要な科目とは別に履修することになります。
- 4) 科目等履修生として登録する場合、本学以外の履修希望者は4年制大学の卒業生であることが必要となります。編入学生の場合は、編入した年度の始めに登録を開始します。科目等履修生及び編入生ともに、他大学での既修得単位は認められません。
- 5) 課程修了証書は、本学日本語教員養成課程規程に基づき、卒業時または年度末に授与されます。
- 6) 履修登録や教務関係についての問い合わせは、人文学部事務室窓口で行なってください。日本語教員養成や資格等、全般的なことについては下記の日本語教員養成課程委員の先生方に相談してください。

人文学部	日本文化学科	教授	徳永	良次	英米文化学科	教授	佐藤	貴史
		教授	手塚	薫				
		准教授	丸島	歩				
		講師	南	明世				

受講料について

本学の日本語教員養成課程を履修する場合、学則第51条の2に従い、受講料等を納入することになります。但し、人文学部学生には受講料は免除されます。

入学検定料（本学卒業者免除）	30,000円
入 学 金（本学卒業者免除）	50,000円
受 講 料	在学生（人文学部以外） 30,000円
	卒業生
	（本学及び他大学卒業） 9,000円（1単位）
修了証書手数料	5,000円



受講希望者に望まれること

1987年に制定された日本語教員検定制度では、日本語教員には「国際的感覚と幅広い教養、豊かな人間性、日本語教育に関する専門的知識・能力等の資質・能力」が要求されるとあります。その後、2000年になって教員養成の教育内容に新たな視点が加わりました。それは、日本語教育を広い意味でのコミュニケーションと捉える考え方で、ガイドラインにあるように、「社会・文化・地域」、「教育」、「言語」の三領域をさらに5区分に分けた教育内容【①社会・文化・地域、②言語と社会、③言語と心理、④言語と教育、⑤言語】がコミュニケーションにつながるというものです。教授者と学習者が互いに学び、教え合うことが基本的なコミュニケーション活動であるとした上で、コミュニケーションを軸とする幅広い学問分野への関心を求めています。また、「言語と教育」の区分にある「実習」の重要性も指摘されています。2016年11月法務省による国内の日本語教育機関に対する告示の中にも、「実習」が日本語教員の要件の一つであることが示されています。本学の課程においては、開講科目の中に実習を含む授業のほか、国内・海外で実習を経験できる機会もありますので、積極的に実践の場を得よう努めてほしいと思います。

本課程で開講されない科目で、教員養成に必要とされる教育内容（一覧表参照）は自主的に学習することを勧めます。それ以外では、外国語の知識と能力を身につけることが必要です。英語はもちろんのこと、韓国、中国ほかのアジアの言語でもコミュニケーションができることは理想ですが、少なくとも基本的な知識と運用能力は必要です。また、コミュニケーションの基本をなす日本語学、言語学はこれからも是非、引き続き学習を続けてください。

日本語教員を目指す仲間同士で、自主ゼミ等を組織し主体的に学びあうことは有意義です。また、本学の留学生との交流も体験し、彼らに対する日本語学習支援も皆さんにとっては学びにもなります。関連教員もできる限り協力を惜しまないつもりです。

積極的に学習機会を求め、より一層の自己研鑽に努めていきましょう。

受講生・卒業生の声

日本語教員養成課程を履修して

齊藤 しほ (2021年英米文化学科卒業)

私が日本語教員養成課程を履修するきっかけとなったのが、新入生ガイダンスでの養成課程の説明会でした。もともとは英語をもっと勉強し、発展途上で仕事をするのが夢だったため、この課程を履修することで将来何らかの役に立つだろう、その程度にしか考えていませんでした。

日本語教師という道を少しずつ考え始めたのは、2年生の初め頃です。2年生になって受講した授業で日本語ボランティア教室の存在を知り、参加させてもらうことになったのです。今でも参加し続けているこの日本語教室で学ぶことは多く、日本語学習者と接するうちに、将来は日本語教育に携わりたいと強く思うようになっていきました。

日本語教室で日本語を教え始めて2年目の夏に、中国への7カ月の派遣プログラムのお話をいただきました。私自身、この派遣に参加すれば卒業が1年遅れること、また日本語教室で他の先生方に助けてもらいながら行う授業が精一杯で、まだ海外で教えられるほどの実力は無いと最初は迷いましたが、やはり将来のことを考えればこんな機会は二度とないと思い、参加させてもらうことにしました。

派遣先は雲南省の昆明にある、雲南師範大学でした。昆明は「春の街」とも呼ばれており、夏は少し暑いくらいですが、とても住みやすい素敵なおところでした。師範大学では、私が今まで日本語教室で見てきた授業方法とほぼ全てが異なっており、最初から、自分自身が日本語教師として学ぶことばかりでした。学生は一生懸命で、分からない文法についての質問や、学生自身が、自分の使う日本語に誤りがないか、発音に問題はないか、というようなことを毎日聞いてくるのです。

私自身の知識不足のせいですぐに答えられない質問も何度もありましたが、今振り返ると、あの7カ月でのあの経験こそ、私が将来絶対に日本語教師になりたい、という気持ちを固めてくれたんだと思います。

中国の派遣が終わり帰国すると、ありがたいことに、次はミャンマーへの2週間の派遣のお話をいただきました。この時は休学中で、仕事と日本語教室以外に何もしていなかったため、こちらもすぐに参加の意思を伝えました。

ミャンマーでは、中国で学んだことを活かした授業を行うことができ、さらに新しい発見と学びがあり、2週間と短い時間ではありましたが、参加できて本当に良かったです。

日本語教師養成課程の履修を考えているみなさん、日本語教師になれば、その先には素敵な夢が沢山あると、私は思います。ぜひ、履修してみてください。



ミャンマーでの日本語授業



中国雲南師範大学で学生達と

受講生・卒業生の声

日本語教員養成課程で、ことばの専門家を目指しませんか？

金田一志帆（2015年日本文化学科卒業）

国語教員の免許を取るために入学した大学で、はじめは「日本語教員」すらぼんやりとしか知らなかった私は、ある日、教授から日本語ボランティア団体をご紹介いただき活動を始めると、こんな衝撃を受けました。

言語を学ぶ人たちって、なんてコミュニケーションに一生懸命なのだろう！

それで、日本語を学ぶ彼らに正しい知識を伝えたいと思い、これまで受けてきた授業内容を振り返りました。するともう、日本語が面白くておもしろくて、伝えずにはいられなくなっていました。ほら、たとえば“今日はカレーでいい”と言ったら、“カレーがいい”でないと妥協に聞こえてトラブルになるような話は有名ですね。たった一文字違うだけで、前後の状況や文意がガラッと変わってしまうところ、面白いと思いませんか。それを言い出したら「sun」と「son」も一文字違いじゃないかと言われたこともあります。それは単語レベルの話。ちょっと規模が違います。といっても私は世界の言語を網羅していないので、この特徴は日本語に限った話ではないかもしれませんが、悪しからずということでご容赦ください。

そんな私は今、オンラインで言語教育をしたり、専門学校でベトナム人へ日本語を教えたりしています。あなたはベトナム語を見たことはありますか？ 聞いたことは？ 話したことは？ きっと、あんまりないですよ。ベトナム語は同じ「a」でも記号を書き加えることによって発音（声調というそうです）が分かれるらしく、母音は12音もあるそうですよ。こう聞いたとき、日本語の倍以上の母音を使い分けることを想像できますか。口の中の動き、どうなっているのでしょうか。同じ人間なのに、もしかして彼らは、こう……舌が長い、とか。舌の付け根の筋肉が発達しているのかな、とか。どんどん彼らに対して興味が湧いてきます。それで、やはり口や息の使い方が全く異なるので、彼らはたとえば「いつ」を発音すると「いちゅ」になってしまうのです。可愛らしいですね。

気になる人や国ができれば、まずはその国の言葉を学ぶでしょう。人や文化に興味を持ち、深く知りたいと思った場合、最初に必要となるのは共通の言語であると思います。「ディズニーが好きで英語が話せるようになった」とか、「K-POPを聞いてハングルを使いこなせるようになった」とか。あなたもそんな経験があるのではないのでしょうか。

コミュニケーションの入り口は言語です。日本語教員は、その最前線に立つ仕事です。こんなに発見のある毎日を過ごせる仕事は他にないと思うのです。

また、日本語教員養成課程での学びは、私が国語教員をしていた時にも活躍しました。「日本語って難しい」と言う生徒には、「〇〇語にはこんな難しい特徴あるの知ってる？」と話せます。日本語の、より正しい知識をもって授業ができるので、「あ、この表現にはこの文法が使われているから、豆知識として伝えよう」などとアイデアが浮かんでくるようになります。

とどのつまり、あなたにはこれを機に日本語についての専門知識を深め、発見のある毎日を楽しんでほしいと思うのです。ぜひ、日本語教員養成課程を履修して「ことばの専門家」を目指してみてください。

受講生・卒業生の声

日本語教員養成課程を受講して

小里美津希（2018年地域経済学科卒業）

私が日本語教育に興味を持ったきっかけは、留学をしていた際に現地の高校で日本語授業アシスタントのボランティアを行ったことです。その際に、自分の母語である日本語を他国の方が勉強をしてくれているという事がとても嬉しく、日本語に興味を持ってくださっている方の手助けをしたいと言う気持ちが芽生えました。帰国後、北海学園大学に「日本語教員養成課程」があることを知りました。人文学部の方が受講していることが多い課程ですが、他学部でも受講することができることを知り、人文学部の中川先生に相談をさせていただきながら、受講を決めました。私の場合、卒業までの1年間で修了に必要な単位を取得する必要があるため、就職活動しながらの受講は大変なことも多々ありましたが、周りの方の協力を得ながら、なんとか課程を修了することができました。

また春休み期間中には、カーディフ大学での日本語教育実習にも参加させていただきました。それまで実習経験がなかった私は、とても不安を抱えておりましたが、カーディフ大学の百済先生より、日本語教育について多くの事をご教授いただき、実際に学生を前に授業を行いました。授業をした際には、上手く説明ができず落ち込むこともありましたが、先生や周りの学生にフィードバックをいただきながら、多くの事を吸収することができました。何より、生徒が私の授業に耳を傾け、日本語で対話をしてくれたことがとても嬉しかったです。約1ヵ月と短い期間でしたが、今でもカーディフ大学での生活は鮮明に覚えている程、充実した日々を過ごすことができました。

現在は、日本語教育とは関わらない仕事をしておりますが、いつか日本で社会人として働いた経験を活かし、語学だけではなく、日本について色々発信ができる日本語教師になることが目標です。日本語教育課程の授業は、経済学部の中でも面白いと感じる授業ばかりでしたので、人文学部以外の方でも、興味があれば是非受講されることをお勧め致します。



英国カーディフ大学で学生達と（右から3番目が私です）

受講生・卒業生の声

日本語教師になるまでの道のり

田澤あす美(2020年文学研究科修士課程 日本文化専攻修了)

日本語教員養成課程要項をご覧の皆様、こんにちは。僣越ながら、私の日本語教師になるまでの道のりをここでご紹介させていただきます。北海学園大学を卒業後、私はすぐにオーストラリアのメルボルンにある民間の日本語学校で日本語教師として有給インターシップのプログラムに参加しました。日本語教育の需要が高いのはアジアですが、初めて海外で働く私は、一度旅行で行ったことがあるオーストラリアの方が安心でしたので、行くことを即決し、そこで初めて「先生」と呼ばれるようになりました。

契約期間が終わり、帰国後、私は日本語教師の職を探そうとせず、アパレルのお仕事を始めました。日本語教師の仕事はとても楽しかったのですが、授業をするために教科書を読みこんだり、教材を用意したりとかなり大変でしたから、少しお休みしたかったのが正直なところでした。しかし、自ら日本語教育から遠ざかったのに、アパレルのお仕事が休みの日は、ボランティアで日本語を教えていました。そしてそんな生活をしている間に自分がどちらの仕事の方が好きか嫌でもわかってきて、私はまた「先生」と呼ばれる生活を選びました。

次に行ったのはインドで、これはJICA青年海外協力隊の日本語教育隊員として国立大学に派遣されました。コルカタ空港から車でどんどん田舎へ進んで4時間のところに派遣先があり、『こんなところで日本語を勉強している人がいるのか』という不安が付きまとう道中でしたが、そこには100人以上の日本語を勉強している学生たちが出迎えてくれました。彼らは日本企業に入ることを目指し、日本語を勉強しており、私も日本企業に必要とされる人材を育成しなくてはという使命感で時には厳しく指導していました。特に時間には口うるさかったので、のんびりとした田舎町で育った学生たちはみんな戸惑っていました。私の任期も終わろうとしている時、一人の学生が「あなたが授業で私たちにしてくれたことは、すべて私たちを思っていることです」のメッセージをもらうまでは私も自分の指導に迷いがあったのですが、自分の思いが伝わっていて本当に嬉しかったです。

今、私は日本語教師として更なるステップアップのため、北海学園大学に戻ってきて、修士課程を履修しています。修士生として過ごしながらも、他大学の留学生と民間企業の技能実習生に日本語を教えているので「先生」と呼ばれています。「先生」と慕われることが何よりも喜びであり、この喜びが一生続くことを願っています。



留学生に対する日本語授業

受講生・卒業生の声

日本語教員養成課程を修了してからの歩み

守岡(井上)みのり (2017年文学研究科修士課程 日本文化専攻修了)

こんにちは。私は2008年に人文学部日本文化学科に入学し、2012年3月に卒業するまでの間、本学の日本語教員養成課程を履修しました。養成課程でどのようなことが学べるのかは先生方が詳しいですから、ここでは卒業から現在まで、日本語教師として私がどのような経緯を経たのかについて簡単に記します。

2012年当時、卒業を控えていた私は「日本語教師として、日本語を外国語として学ぶ人たちと接し国内外で教えていくのであれば、一度は海外へ出てみたい。日本語以外の言語を学びたい」と思いました。そこでアメリカのオレゴン州、ポートランド市にて、日・英語のバイリンガル教育を施す小学校でアシスタントを務めました。初めての海外での生活、ホストファミリーとの交流、教育現場での経験は、その後の自分の仕事を決定付けるものとなりました。2013年からは札幌市にて派遣の仕事で学費を貯め、2014年からは日本語教育の更なる専門的知識の会得のため、本学の大学院文学研究科に入学しました。在学中の2015年から2016年にかけては、国際交流基金のプログラムにより、本学の提携大学であるカナダのレスブリッジ大学へ留学し、中高生、大学生ヘイインターンとして日本語を教えました。2016年に帰国したのちは、短期で立命館慶祥高校の留学生に日本語を教え、2017年にはマンガを日本語教材として検討し、マンガに現れるジェンダー表現を分析するというテーマで修士論文を提出し、修士号を得るに至りました。

修士号以上の学歴を有していると、海外の大学でも教えることができるようになります。そこで同年には、中国の山東省、済南大学にて日本語講師として日本語科の学生に「会話」や「聴解」「日本事情」などの科目を中心に日本語を教えました。日々の授業も大変面白く、更に大学の日本語クラブ、済南日本人教師会の勉強会、中国全土の大学生を対象とした「中華杯日本語スピーチコンテスト」の指導など、行事が盛り沢山でした。2018年には、さらに博士課程の進学を視野に、本学文学研究科の研究生として在籍し、中国の大学での実践を踏まえた論文を音声指導の観点から進めています。

2019年現在は、北海道にきた外国人技能実習生へ日本語を教えています。今後は引き続き本学の研究生として研究を進め、春からは北海道大学の留学生センターにて多国籍の留学生へ日本語を教えながら、研究者・日本語教師としてキャリアを積んでいきたいと考えています。



レスブリッジ大学学生への日本語授業風景